



生徒の皆さんへ

明けましておめでとうございます。コロナ禍で迎える初の新春となりました。残念ながら感染症には年末年始も無いので、例年とは違う年明けでしたが、皆さんはどのように過ごしましたか。一年の計は元旦にあり。一生の計は少壮の時にありとも言われます。若くて元気のよい青年期にどのように過ごすかが大切です。

paradigm shift

パラダイムシフト

パラダイムシフト？パラダイムチェンジとも言うが初めて聞く人もいると思う。簡潔に言うと、それまでの常識が大きく覆って、全く新しい常識に切り替わることである。例として、天動説から地動説への転換、ダーウィン進化論などがある。

パラダイムシフトは、もともと科学ジャンルの言葉で、トーマス・クーンという科学史の学者が『科学革命の構造』という著書で使い始めたものである。そのなかでクーンは「天動説が地動説になったのは説得でも論破でもなく、ただの世代交代でしか無かった。簡単に言えば天動説を唱えていた人がみんな亡くなったからである」と述べている。たとえ新しく正しい理論でも古くて間違っただけの理論を一気に転換できるような術はなく、長い時間をかけて切り替わるのである。

いつの時代も「世の中を変えたい」と考える人は少なくないが、なかなか思うようには切り替わらないことが多い。しかし、諦めてはいけぬ。なぜならば、皆さんが新しく正しい考え方を選べば、最初は少数派だが、続けていけば必ずパラダイムシフトは起こせるのである。したがって、選挙における一票も、世の中を変えられる実感は得られないが、大切な行動には違いない。つまり、世の中が変わるかどうかというカギは、若者である”皆さん”が握っているのである。ちなみに、明治維新の中心人物は20代、30代の若者であり、高齢者ではない。皆さんも自分の耳で聞き、冷静な判断のもと正しい選択をしてほしい。

一方、コロナ禍にある現在は、それまでの常識が切り替わろうとするパラダイムシフトの時期を迎えているともいわれる。教育においてはオンライン授業、企業においてはリモートワークなど新しい言葉が飛び交うが、あらためて人間同士のコミュニケーションのあり方として、直接対面、接触、親睦、飲食などの有意性が問われている。新しい生活様式のなかで、人として本当に大切なものは何かという本質を見極める必要もあるだろう。まずは古い価値観から新しい価値観にアップデートする柔軟さを持ち合わせてほしい。願わくばパラダイムシフトによって、貧困や労働問題、環境や気候変動などSDGsへの関心が高まり、世界規模での課題解決への糸口になればと思うのは欲張りすぎなのだろうか。

知らないうちに、拡めちゃうから。



STOP!
感染拡大
— COVID-19 —

こころの詩「冬が来た」

きつぱりと冬が来た

高村光太郎

八つ手の白い花も消え

公孫樹いてふの木も 箒ほうき になった

きりきりともみ込むような冬が来た

人にいやがられる冬

草木にそむ 背かれ、

虫類に逃げられる冬が来た

冬よ

僕に來い、僕に來い

僕は冬のカ、冬は僕の餌ゑじき 食だ

しみ透れ、つきぬけ

火事を出せ、雪で埋めろ

刃物のやうな冬が来た

読書への誘い（本校図書室に置いてある本）

「この世界の片隅に」 こうの史代 著 双葉社

当初の計画では、2年生は修学旅行にて広島で平和学習を行う予定であった。しかし、感染状況によってやむなく変更となり、原爆ドーム等を目にする機会を失った。しかし、是非とも、皆さんに読んでほしいのが、この新しいタイプのマンガである。

戦争が始まる前の広島・呉に住む女性を主人公に、戦時中の日常生活を描いたストーリーである。2016年には片渕須直監督によって劇場版長編アニメーション映画化され、さらに大きな反響を呼び、すでに教育現場での活用されている作品である。

おすすめ理由は、マンガならではの方法で、読者に過去の出来事を自分のこととして考えさせることに挑戦しているからである。一読すれば、通常のマンガに見られないような暖かみのある質感の手書きの線や、特徴的なコマの使い方など独特なマンガ表現がある。

平和な世の中だからこそ、この機会にマンガを読むことで、戦争を自分の問題として捉えてほしい。そして、この沖永良部島も戦争によってアメリカの統治下にあった事実を思い返すとともに、令和3年を迎えても、世の中から戦争は無くさないといけない。憎しみで憎しみを消し去ることはできないのだから。



保護者の皆様へ

新型コロナの変異種が話題となっている昨今、令和3年も不安な年始となりました。インフルエンザなども流行る季節でもあり、コロナと見分けがつかないとの話も耳にします。今年も、御家族での基本的な感染症対策をお願いします。